

学校運営協議会(定時制部会)議事録

校名	大阪府立大手前高等学校
准校長名	杉田 真規子

開催日時	令和3年11月18日(木)17:30~19:00
開催場所	大阪府立大手前高等学校 大会議室
出席者(委員)	前 比呂子 原田 幸恵 浅田 和義 堀 剛士 平田 圭介
出席者(学校)	杉田 真規子 矢野 直子 山本 勲
傍聴者	
協議資料	授業アンケート評価の経年変化(H28~R3)
備考	なし

議題等(次第順)

- 1 第1回授業アンケート集計結果
- 2 授業見学
- 3 現在の本校の様子・取組み等
- 4 その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 0 第1回学校運営協議会における質問事項等への回答
- 生徒の年齢層等の比率を示し、本校の全体像イメージを説明。
  - 長期欠席生徒等の状況を説明。
  - 高齢生徒への支援策を説明。
  - 日本語支援を必要とする生徒の現状を説明。
- 1 第1回授業アンケート集計結果及び分析結果の報告
- 令和2年度第1回の評価平均が「3.37」から「3.43」に上昇(過去5年間で最高値)。
  - 「授業に対する生徒の取り組み姿勢」「生徒による授業評価」「授業に関する生徒の意識」すべての分野で肯定率84%超。
  - 評価平均・肯定率が上昇した理由として以下のように考える。
    - ・小中学校で不登校だった生徒においては、学校に登校することで他者と繋がっていることへの安心感や自身の居場所が確保できたことで、自身のペースで学校へ安定的に登校できるようになった。
    - ・高齢の生徒においては、諸事情により高校に通い、学ぶことができなかった環境等にあったが、学べることへの喜びを感じている。
    - ・外国にルーツを持つ生徒においては、入学前から「大学進学」という明確な目標を掲げている。
    - ・卒業予定生においては、社会に出ていくことや自立することをしっかりと意識し、行動できるようになっている。
  - 生徒一人ひとりが成長する、変容する背景として考えられること。
    - ・誰一人取り残すことのない「わかりやすい授業づくり」をめざした教員の様々な工夫や校内努力によるTTの実践、生徒が積極的に学ぼうとする仕掛けづくりに全教職員で取り組んでいる。
    - ・外部資源の有効活用。
    - ・様々な課題について教職員間で共有し、自分事としてとらえ、全教職員で向き合っている。
- 2 授業見学
- 高齢の生徒、外国にルーツを持つ生徒、障がいのある生徒等へのサポートが行き届いている。学校側の手厚い対応が印象的。
  - スマートフォンを見る、寝ている、外ばかりを見ているなどの生徒がいない。
  - みんな前向きで、生徒が変わってきていることを実感。
  - 生徒が解答を導き出す際に躓く場面が見受けられたが、途中で諦めることなく最後まで粘り強く取り組んでいた。
  - (保護者の立場から)子どもがクラスメートにも恵まれ、毎日楽しみながら通学できている。
- 3 現在の本校の様子・取組み等
- 令和4年度より新学習指導要領が年次進行で施行されるため、全教員による研究授業や教科ごとの振り返りによる授業改善の実践(PDCAサイクル)や観点別評価への対応を進めているところ。
  - 1人1台端末の校内活用に向けて教員研修を実施した。使えるようになるまで時間を要する生徒もいるが、できることから実践している。生徒個々の現状にあわせた対応も検討している。
  - 外部資源の活用、外部連携を積極的に行っている。
    - ・教員をめざす学生が多く在籍する大学に積極的に働きかけ、生徒支援体制の更なる充実に取り組んでみてはどうか。
  - クラブ活動でバドミントン部が近畿大会に出場予定。
- 4 その他  
特になし

次回の会議日程

日時	令和4年2月21日(月)15:00~16:00
会場	大阪府立大手前高等学校 1階大会議室